

# 外国語活動・外国語の指導を 4技能の観点で見直す

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

粕谷恭子（東京学芸大学）

# 0. 4技能をなだらかに育てるための言語経験

4技能のとらえ方 (第1回)

「意味」と「音」の一致 (第2回)

大量の音声インプット (第3回)

**口慣らし (後練) (第4回)**

「音声」と「文字」の一致 (第5回)

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 1. 外国語の音を出す ということ

#### \* 基本的に「異物」

- ・ 馴化する時間が必要

#### \* 自分のペースで音を転がす段階が必要

- ・ 一律の反復では賄いきれない
- ・ 目立たない配慮が必要 Big Voice だけが正義ではない
- ・ 自分の中に取り込んだ音声を試しつつ外に出してみる

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 2. 指導者に必要なこと

#### \* 児童の尊厳への配慮

- ・ 恥をかかせない
- ・ 無理をさせない
- ・ 話し頃は児童が決める

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 2. 指導者に必要なこと

\* 児童が出しづらい箇所や音素への助言能力

- ・ 言葉にも歌詞とメロディーがある
- ・ 歌詞の指導 = 外部人材や音源の出番
- ・ メロディーの指導 = 唇を閉じて言ってみよう  
ストレスが来るところを体で示す

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 3. 授業の場面で

- \* 「意味」と「音声」の一致、音声インプットのステップが終わってから
  - ・ 後練
- \* 意味が伴うRepeat after me.
  - ・ 「自分に当てはまるときだけ言ってみよう」
  - ・ 「校長先生が言いそうなときだけ言ってみよう」
  - など

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 3. 授業の場面で

#### \* 一人での口慣らし

- ・ひとり言タイム

隣の人に聞かれちゃいけない

3回言えば夢は叶う

ささやきから始めよう など

- ・先生は机間指導！！

## 第4回 口慣らしの活動（後練）

### 3. 授業の場面で

#### \* すぐにペアで話させない

- ・ ペアにする前に、自力で話せるか確認する
- ・ 個人指名を行って、できばえを確認 = 形成的評価
- ・ 個人指名で十分話せていないなら、原因を究明して手を打つ = 指導
- ・ このように丁寧に「話せるようになる道」を歩かせれば、「紙にかじりつく話すこと」はなくなるのではないか



## 4. 次回予告

この回では、口慣らしのステップについてお話ししました。

第5回では、「音声」と「文字」の一致について扱います。